



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月28日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,760	36.4	180	75.9	180	73.8	105	148.0
27年12月期第1四半期	1,290	-	102	△29.7	103	△28.5	42	△31.9

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 115百万円 (114.5%) 27年12月期第1四半期 54百万円 (△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	3.59	-
27年12月期第1四半期	1.45	-

(注) 当第1四半期連結会計期間より、フィールドマーケティング事業の売上高を総額表示から純額表示に変更したため、27年12月期第1四半期の売上高について遡及処理後の数値を記載しております。これに伴い、27年12月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	4,468	2,986	63.7	97.29
27年12月期	4,401	2,867	62.2	93.60

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 2,846百万円 27年12月期 2,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年12月期	-	-	-	-	-
28年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,400	19.2	380	3.0	380	2.6	205	0.8	7.01
通期	7,000	18.7	700	3.2	700	3.1	380	1.8	12.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成27年12月期の売上高について遡及処理を行っているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は遡及処理後の数値との比較によるものです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期1Q	30,955,000株	27年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	1,700,000株	27年12月期	1,700,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期1Q	29,255,000株	27年12月期1Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（150,000株）を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結業績は、

売上高	1,760百万円 (前年同期比 36.4%増)
営業利益	180百万円 (同 75.9%増)
経常利益	180百万円 (同 73.8%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	105百万円 (同 148.0%増)

となりました。

当第1四半期では、「フィールドマーケティング事業」を中心に売上高が増加しました。利益面におきましても、増収の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも増益となりました。

なお、当社グループは、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当第1四半期より、フィールドマーケティング事業の売上高に関する会計処理方法の変更を行っており、遡及処理後の数値で前四半期との比較を行っております。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. eセールスマネージャー関連事業

当第1四半期は、主力製品である「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売が堅調に推移したことに加えて、販売促進・広告宣伝費などのコスト適正化に努めました。

以上の結果、売上高761百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益62百万円(同73.1%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当第1四半期においては、新規の大型案件がスタートするとともに、案件獲得も順調に推移し増収となりました。今後の業容拡大に対応させるため、九州と中部に支店を開設するとともに、管理職クラスの人材を積極的に採用し、組織運営体制の強化を進めております。

新規案件増加の結果、売上高832百万円(前年同期比96.8%増)、増収効果によりセグメント利益111百万円(同155.6%増)となりました。

3. システム開発事業

当第1四半期では、引き続き、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めることで、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高122百万円(前年同期比8.6%増)、セグメント利益1百万円(同16.7%減)となりました。

4. 出版事業

当第1四半期では、売上高74百万円(前年同期比13.1%増)と堅調に推移したものの、販売促進費などの増加により、セグメント利益4百万円(同80.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産	4,468百万円 (前連結会計年度末比 1.5%増)
負 債	1,482百万円 (同 3.3%減)
純資産	2,986百万円 (同 4.1%増)

となりました。財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円増加し、4,468百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が131百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が145百万円、仕掛品が26百万円、ソフトウェアが13百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、1,482百万円となりました。主な要因は、未払金が67百万円増加したものの、未払法人税等が65百万円、前受金が45百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ118百万円増加し、2,986百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が111百万円、非支配株主持分が10百万円増加したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、63.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年1月29日に公表いたしました平成28年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(売上高の会計処理の変更)

当社の連結子会社であるソフトブレン・フィールド株式会社は、従来、顧客に直接請求していた経費について、売上高及び売上原価を総額で計上しておりましたが、当連結会計年度より、売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更しております。

これまで、主として、全国規模で構築した人材ネットワークを活用し、業務委託契約を締結した登録キャスト（個人事業主）が顧客から依頼を受けた業務を訪問単価制（交通費、通信費等を含んだ一訪問一活動当たりの報酬設定）で実施しておりました。しかしながら近年、一括アウトソーシングや派遣を中心とした「ラウンダー人材バンク」サービスの売上構成比が高まり、それに伴い、店頭活動を行う契約社員が急激に増加しております。

当該会計方針の変更は、契約社員型のサービスにおいて、店頭活動に係る経費を顧客に請求することができることが明確になってきたため、取引実態及び契約内容を検証した結果、今後は取引総額ではなく純額で売上計上する方法を採用することが、これらの事業構造、収益構造の変化に対応し、経営成績をより適切に反映すると判断したことによるものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ41,815千円減少しておりますが、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首の純資産への累積的影響額はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,687,665	2,556,371
受取手形及び売掛金	919,849	1,065,333
商品及び製品	54,845	61,640
仕掛品	83,388	109,631
繰延税金資産	89,620	83,903
その他	78,365	81,235
貸倒引当金	△9,818	△6,417
流動資産合計	3,903,916	3,951,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,435	62,018
減価償却累計額	△39,552	△41,066
建物及び構築物(純額)	12,883	20,952
工具、器具及び備品	234,171	245,102
減価償却累計額	△184,438	△189,573
工具、器具及び備品(純額)	49,732	55,528
その他	2,916	2,916
有形固定資産合計	65,532	79,396
無形固定資産		
ソフトウェア	306,346	319,692
その他	915	915
無形固定資産合計	307,262	320,607
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	67,326	70,622
長期滞留債権	52,316	48,815
繰延税金資産	51,982	41,158
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△52,316	△48,815
投資その他の資産合計	124,809	117,280
固定資産合計	497,603	517,285
資産合計	4,401,519	4,468,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,838	318,974
未払金	210,863	278,753
未払役員賞与	20,200	20,200
短期借入金	100,000	101,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	116,757	51,489
前受金	310,169	264,652
賞与引当金	21,711	24,957
役員賞与引当金	-	5,669
返品調整引当金	14,033	11,814
株式給付引当金	9,702	10,470
その他	183,894	148,454
流動負債合計	1,329,169	1,292,434
固定負債		
長期借入金	196,000	182,000
その他	8,591	7,977
固定負債合計	204,591	189,977
負債合計	1,533,760	1,482,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	363,883
利益剰余金	1,803,667	1,915,640
自己株式	△259,385	△259,385
株主資本合計	2,738,142	2,846,201
非支配株主持分	129,616	140,370
純資産合計	2,867,759	2,986,571
負債純資産合計	4,401,519	4,468,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,290,232	1,760,289
売上原価	773,967	1,164,081
売上総利益	516,264	596,207
返品調整引当金戻入額	695	324
差引売上総利益	516,960	596,531
販売費及び一般管理費	414,486	416,294
営業利益	102,474	180,237
営業外収益		
受取利息	263	266
違約金収入	480	-
保険解約返戻金	737	-
助成金収入	-	2,365
その他	60	127
営業外収益合計	1,541	2,760
営業外費用		
支払利息	221	495
為替差損	73	2,222
営業外費用合計	295	2,718
経常利益	103,721	180,279
税金等調整前四半期純利益	103,721	180,279
法人税、住民税及び事業税	31,054	47,829
法人税等調整額	18,621	16,540
法人税等合計	49,675	64,369
四半期純利益	54,045	115,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,650	10,753
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,394	105,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	54,045	115,909
四半期包括利益	54,045	115,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,394	105,155
非支配株主に係る四半期包括利益	11,650	10,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー 一関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	705,924	419,809	98,628	65,870	1,290,232	—	1,290,232
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,433	3,269	14,167	—	21,870	△21,870	—
計	710,357	423,078	112,795	65,870	1,312,102	△21,870	1,290,232
セグメント利 益	36,350	43,562	2,389	20,441	102,742	△268	102,474

(注) 1. セグメント利益の調整額△268千円には、固定資産の調整額が△85千円、棚卸資産の調整額が△183千円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー 一関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	756,547	829,074	101,782	72,885	1,760,289	-	1,760,289
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,765	3,397	20,716	1,605	30,485	△30,485	-
計	761,313	832,471	122,499	74,490	1,790,774	△30,485	1,760,289
セグメント利 益	62,922	111,321	1,990	4,080	180,315	△78	180,237

(注) 1. セグメント利益の調整額△78千円には、固定資産の調整額が47千円、棚卸資産の調整額が△125千円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、フィールドマーケティング事業の売上高について、当第1四半期連結累計期間より、総額表示から純額表示に変更いたしました。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高はフィールドマーケティング事業で41,815千円減少しておりますが、セグメント利益への影響はありません。